

# 第2章 所沢市の現状と課題

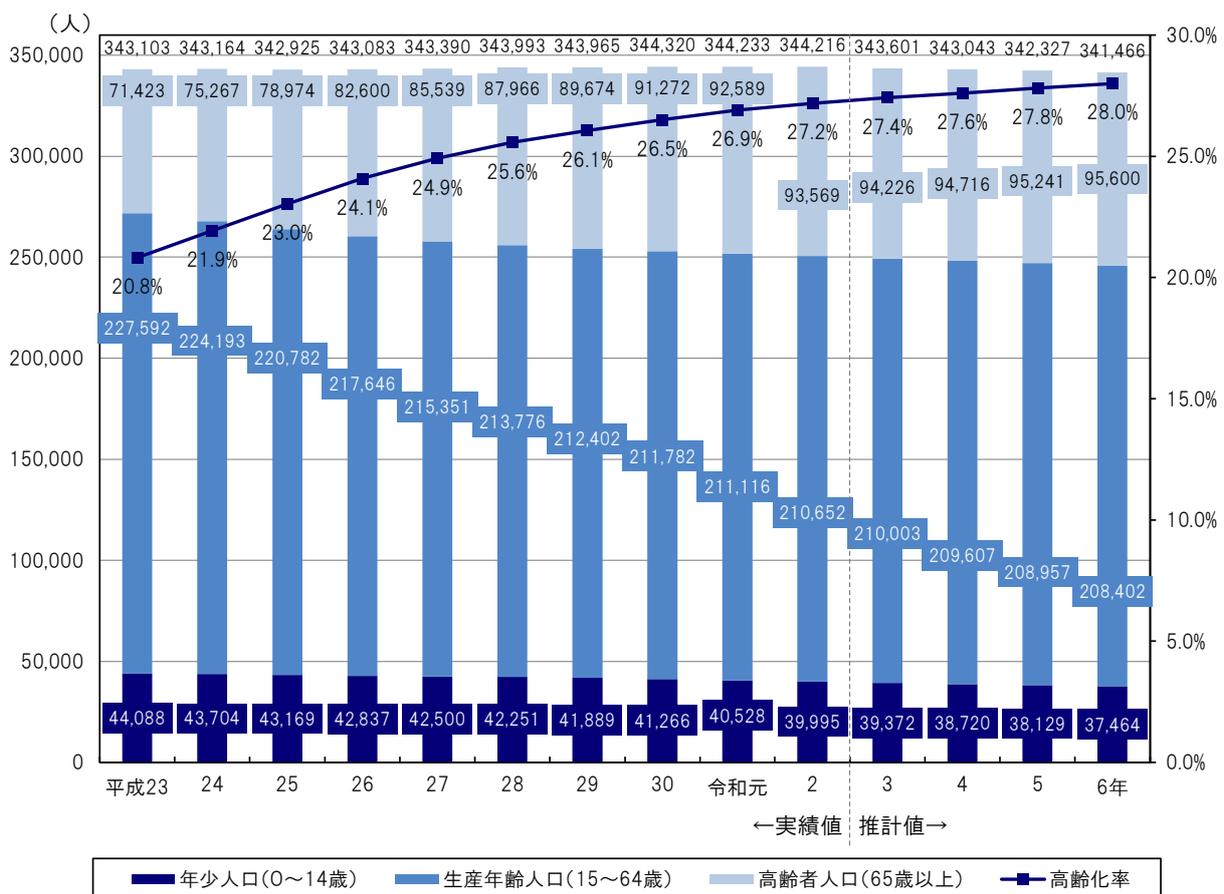
## 1 統計からみる所沢市の現状

### (1) 人口と世帯の状況

本市の人口は、10年間にわたって34万2千人台から34万4千人台で推移してきましたが、今後減少傾向に転じることが予測されています。

また、年齢階級別にみると、生産年齢人口が年々減少する一方で、高齢者人口が増加しています。高齢化率は、平成23年から10年間で約6ポイント増加し、令和2年時点で27.2%となっています。

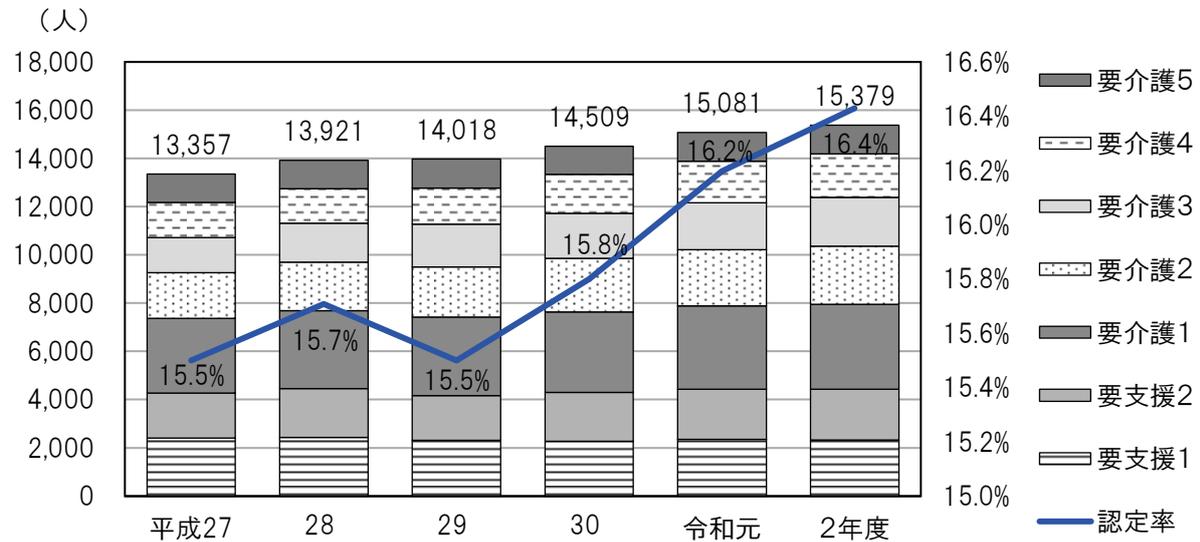
■本市における年齢階級別人口及び高齢化率の推移と推計



実績値出典：住民基本台帳(各年12月31日)  
 推計値出典：経営企画課(第6次所沢市総合計画実施計画(2020~2023)における人口推計で、令和元年12月31日を基準日とした推計値)

要支援・要介護認定者数の推移をみると、過去6年間で2,022人増加しており（約1.2倍）、高齢者人口に占める割合（認定率）も上昇しています。

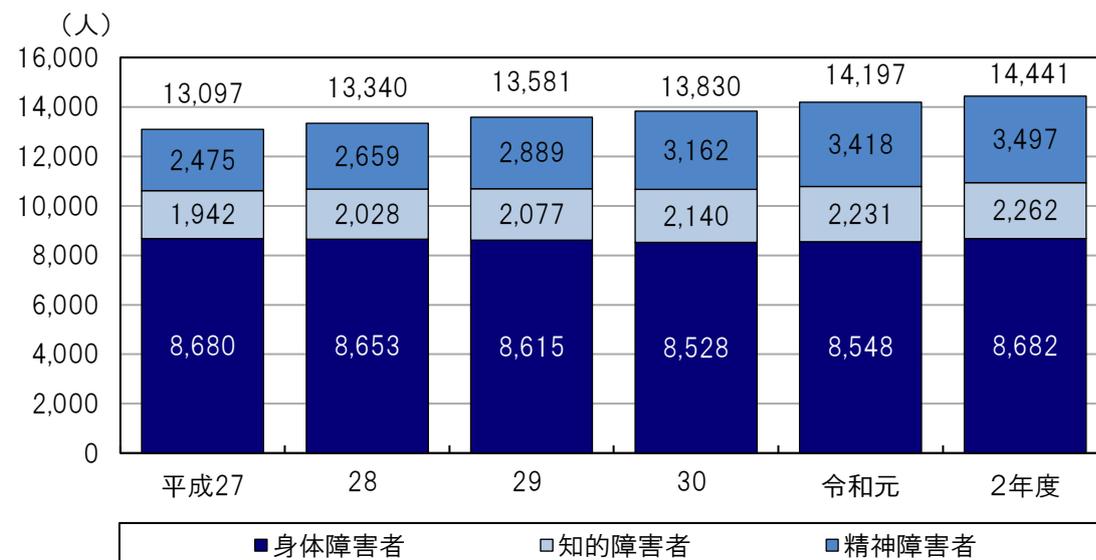
■本市における要支援・要介護認定者数(第2号被保険者を除く)及び認定率の推移



出典:介護保険課(各年度末時点、令和2年度のみ9月30日時点)

障害者手帳所持者数の推移をみると、知的障害者と精神障害者が増加傾向にあります。特に精神障害者については、6年間で約1.4倍と、増加率が高くなっています。

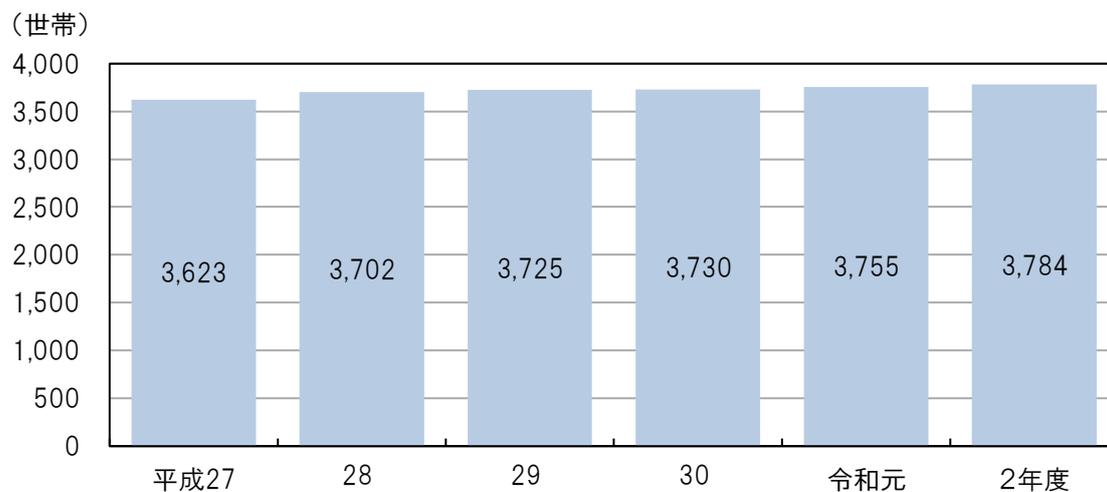
■本市における障害者手帳所持者数の推移



出典:障害福祉課、健康管理課(各年度末時点、令和2年度のみ9月30日時点)

生活保護受給世帯数の推移をみると、微増傾向にあります。

■本市における生活保護受給世帯数の推移

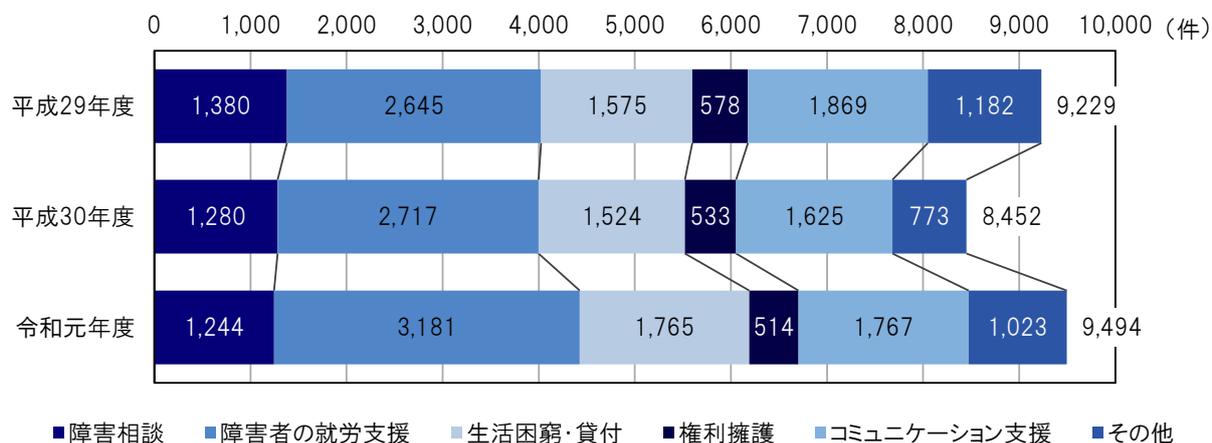


出典：生活福祉課(各年度末時点、令和2年度のみ9月30日時点)

## (2) 相談の状況

こどもと福祉の未来館に設置している福祉の相談窓口<sup>25</sup>の推移をみると、令和元年度は9,494件となっています。内容別にみると、障害者の就労支援が最も多く、次いでコミュニケーション支援、生活困窮・貸付となっています。

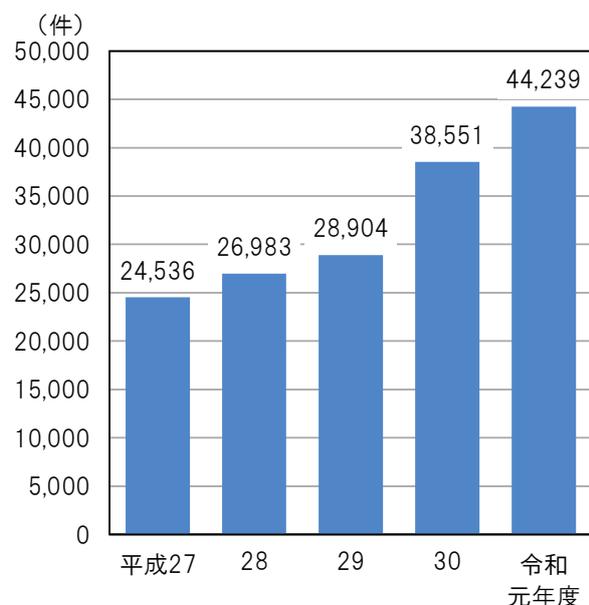
■福祉の相談窓口の相談件数の推移(内容別)



出典：地域福祉センター(各年度末時点)

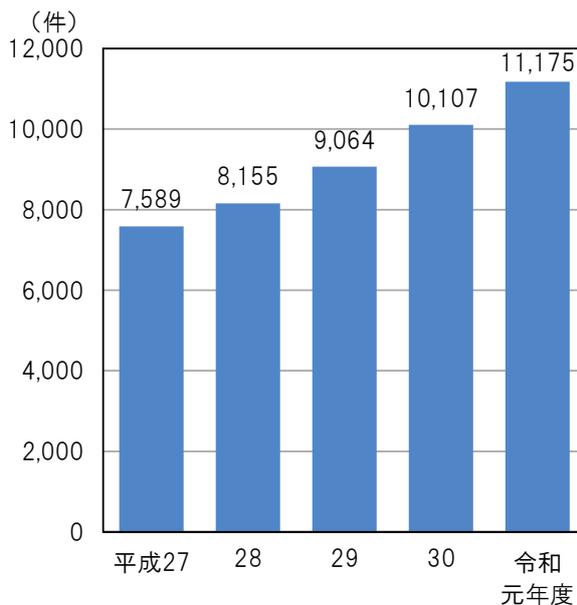
地域包括支援センター<sup>26</sup>の相談件数及び基幹相談支援センター等の相談件数の推移をみると、いずれも増加傾向にあります。

■地域包括支援センターの相談件数の推移



出典：高齢者支援課(各年度末時点)

■基幹相談支援センター等の相談件数の推移

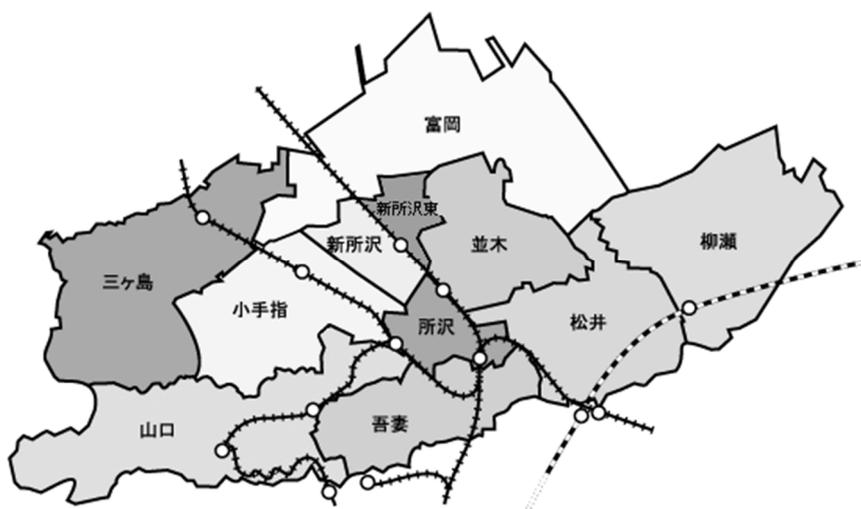


出典：障害福祉課(各年度末時点)

25 p.6 参照  
26 p.5 参照

### (3) 地区別の状況

本市は東西に広く駅周辺等のにぎわいが形成される一方で、狭山丘陵や三富新田など自然豊かな地域が残り、市内 11 地区の住環境や人口推移などについても様々です。



記載内容出典：「所沢市都市計画マスタープラン」「所沢市地域づくりガイドライン」  
 各データ出典：①②住民基本台帳（令和 2 年 12 月 31 日現在）※③④⑤…左記台帳を基に積算  
 ⑥⑦⑧「令和 2 年度版 所沢市市民意識調査報告書」  
 ⑨地域づくり推進課（令和 2 年 4 月 1 日現在）  
 ⑩地域福祉センター（令和 3 年 1 月 1 日現在）

#### 所沢地区

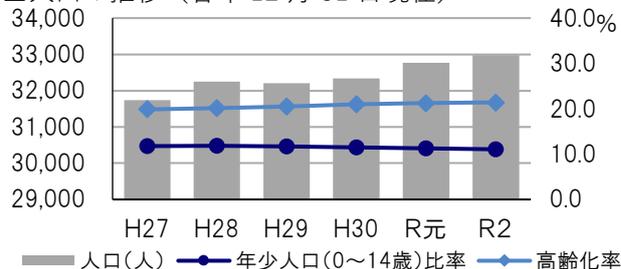
所沢地区は、江戸時代から交通の要衝として栄え、秩父巡拝道と鎌倉街道との交差点周辺に形成された宿場として発展し、現在の中心市街地を形成しています。所沢駅周辺は、本市における都市機能の中心地となっていますが、ファルマン通りから銀座通りにかけては、平成 7（1995）年の超高層マンションの開発に始まり、多くのマンションが建設され、都市型住宅などの供給も行われています。

一方で、市外での大型商業施設の立地などにより、商店街の機能や活力の低下が見られるほか、慢性的な交通渋滞、多くの狭あい道路や密集市街地など、交通や防災面などの課題があり、商業の活性化や安全・安心な住環境の整備が求められています。

#### ■基本データ

	単位	所沢地区	市全体
① 人口	人	32,985	344,216
② 世帯数	世帯	17,173	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	1.92	2.10
④ 高齢化率	%	21.4	27.2
⑤ 平均年齢	歳	44.5	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	90.3	87.4
⑦ 定住意向	%	87.8	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	67.1	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	12,162	96,973
加入率	%	71.7	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	52	478
充足率	%	100	96.37

#### ■人口の推移（各年 12 月 31 日現在）



#### ■地区の現況

令和元年 6 月 29 日に「所沢地域づくり協議会」を設立。同年度には、設立を P R するため「ところざわ地区生活お役立ちマップ(高齢者向け・一般向け)」を作成し、令和 2 年度には、地域の文化伝承を記録した冊子「所沢地区は、こんな街！」を作成した。今後更に各団体間での情報共有、連携強化を推進していく。

## 松井地区

松井地区は、急激な市街化により農地と住宅地が混在しているほか、狭あい道路が多く、交通や防災面などで課題があり、安全・安心な住環境の整備が求められています。

一方、東所沢駅周辺は、土地区画整理事業により都市基盤が整備されたゆとりある良好な市街地が形成され、都市機能などの立地も進んできました。

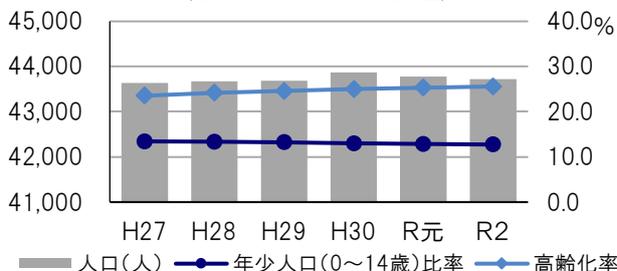
今後は「COOL JAPAN FOREST 構想」の進捗や都市高速鉄道 12 号線の延伸を見据え、広域生活拠点として一層の充実を図る必要があります。

### ■基本データ

	単位	松井地区	市全体
① 人口	人	43,718	344,216
② 世帯数	世帯	20,074	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.18	2.10
④ 高齢化率	%	25.6	27.2
⑤ 平均年齢	歳	45.5	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	88.9	87.4
⑦ 定住意向	%	85.5	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	65.3	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	11,327	96,973
加入率	%	56.8	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	25	478
充足率	%	96.15	96.37
⑪ 民生委員・児童委員数	人	29	478
充足率	%	100	96.37

※⑩…松井東地区 ⑪…松井西地区

### ■人口の推移（各年 12 月 31 日現在）



### ■地区の現況

平成26年7月5日に「松井まちづくり協議会」を設立。構成団体を5部会に振り分け、活動を行っている。広報紙「まついむら」の配布や文化歴史・自然環境遺産認定事業に特色がある。人材発掘・育成、地域課題の掘り起こし方法やその情報共有などの仕組みづくりを進めている。

## 柳瀬地区

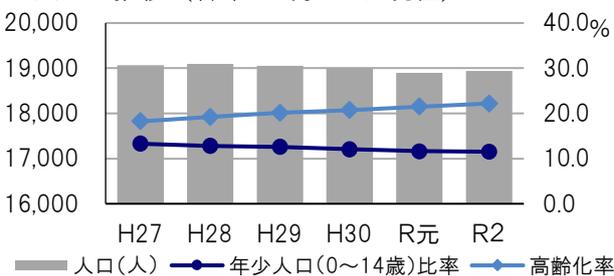
柳瀬地区は、半分近くが農地として利用されており、滝の城址公園、柳瀬川とその周辺など、みどりが豊富な地区となっています。東所沢駅周辺は、土地区画整理事業により都市基盤が整備されたゆとりある良好な市街地が形成され、都市機能などの立地も進んできました。

今後は「COOL JAPAN FOREST 構想」の進捗や都市高速鉄道 12 号線の延伸を見据え、広域生活拠点として一層の充実を図る必要があります。国道 463 号の沿道などには、大規模な流通業務施設が進出しており、これらの施設と周辺環境との調和が求められています。

### ■基本データ

	単位	柳瀬地区	市全体
① 人口	人	18,939	344,216
② 世帯数	世帯	8,875	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.13	2.10
④ 高齢化率	%	22.2	27.2
⑤ 平均年齢	歳	44.6	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	81.8	87.4
⑦ 定住意向	%	79.4	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	64.7	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	4,060	96,973
加入率	%	45.9	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	25	478
充足率	%	100	96.37

### ■人口の推移（各年 12 月 31 日現在）



### ■地区の現況

平成28年7月2日に「柳瀬地区まちづくり協議会」を設立。地域行事やイベント開催をとおして、各団体間のつながりを深め、情報共有と地域課題に協働で取り組む体制を整備している。地区・中学校合同体育祭や地区文化祭など地域一体の取組に特色があり、人材発掘・育成に寄与している。

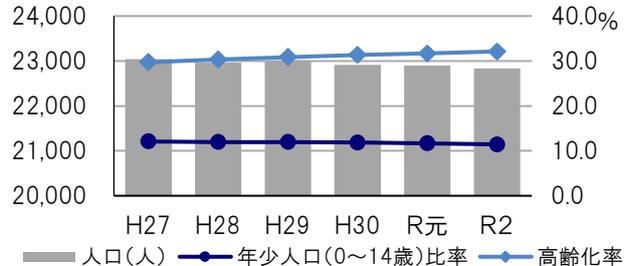
## 富岡地区

富岡地区は、大半が市街化調整区域に指定されており、農地や雑木林などが広がっています。市街化調整区域には、古くからの住宅地や歴史ある三富新田といった農地などがあり、田園風景が広がり、本市における都市近郊農業の中心となっています。近年では、相続などによる雑木林の売却、後継者不足による農地の減少など、貴重なみどりが徐々に減少しています。市街化区域では、東部に位置する中富南部地区で土地区画整理事業が行われ、地区計画による良好な住環境の市街地が形成されています。

### ■基本データ

	単位	富岡地区	市全体
① 人口	人	22,833	344,216
② 世帯数	世帯	10,038	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.27	2.10
④ 高齢化率	%	32.1	27.2
⑤ 平均年齢	歳	48.7	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	85.3	87.4
⑦ 定住意向	%	79.7	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	68.5	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	5,955	96,973
加入率	%	59.7	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	31	478
充足率	%	96.88	96.37

### ■人口の推移（各年12月31日現在）



### ■地区の現況

平成26年9月27日に「富岡地域づくり協議会」を設立。平成28年度には富岡福祉プロジェクト（地域福祉部会と地域ケア会議<sup>27</sup>の合同会議体）を開始し、地域福祉課題に取り組み、地域内事業所と連携し、「買い物支援」のシステムを構築する。地域の事業所との連携は「買い物支援」にとどまらず、ウォークラリー大会など実例が豊富。

## 新所沢地区

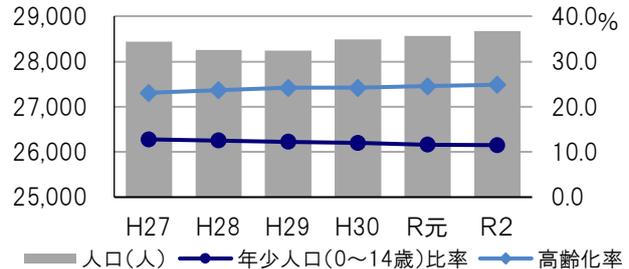
新所沢地区は、新所沢駅を中心に多くの都市機能が集積しており、市内でも所沢地区に次いでにぎわいと活気のある地区です。昭和30年代以降の土地区画整理事業により、都市基盤が整備されていますが、地区の一部で都市機能の更新時期を迎えつつあり、独立行政法人都市再生機構による団地の建替えや行政施設の整備などが行われてきました。

また、土地区画整理事業が行われていない地区では狭あい道路が多く、交通や防災面などで課題があり、安全・安心な住環境の整備が求められています。

### ■基本データ

	単位	新所沢地区	市全体
① 人口	人	28,669	344,216
② 世帯数	世帯	13,873	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.07	2.10
④ 高齢化率	%	24.9	27.2
⑤ 平均年齢	歳	46.2	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	92.9	87.4
⑦ 定住意向	%	85.2	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	72.0	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	8,211	96,973
加入率	%	59.8	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	42	478
充足率	%	95.45	96.37

### ■人口の推移（各年12月31日現在）



### ■地区の現況

平成26年7月12日に「新所沢まちづくり協議会」を設立。当初は地域のふるさと探しに映画上映や会議での意見交換を重ねてきたが、その後一歩前進し、ふるさと作りの一環として「駅前イルミネーション事業」に取り組んでいる。今後も色々な取組を通じて、地域のふるさと化を目指していく。

27 地域包括支援センターがそれぞれの担当地区の中心となり、様々な立場の関係者の参加の下で地域における課題の把握や対応策の検討を行う会議。

## 新所沢東地区

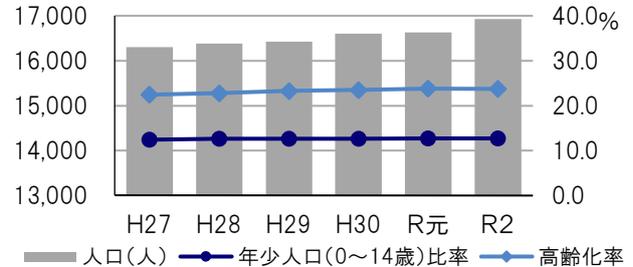
新所沢東地区は、昭和40年代に新所沢駅周辺の民間開発により、急激な宅地化が進んだ地区です。地区内にはスーパーマーケットなどの商業施設も多く、利便性の高い地域ですが、都市基盤や住宅の老朽化などの問題をはじめ、良好な住環境の保全が課題となっています。

また、地区の一部では狭い道路や変則的な交差点があるほか、公園・緑地の不足など、交通や防災面などで課題があり、安全・安心な住環境の整備や駅前商業地の活性化も求められています。

### ■基本データ

	単位	新所沢東地区	市全体
① 人口	人	16,928	344,216
② 世帯数	世帯	8,386	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.02	2.10
④ 高齢化率	%	23.7	27.2
⑤ 平均年齢	歳	45.1	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	89.2	87.4
⑦ 定住意向	%	84.4	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	71.3	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	5,297	96,973
加入率	%	64.1	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	28	478
充足率	%	100	96.37

### ■人口の推移（各年12月31日現在）



### ■地区の現況

平成27年6月20日に「しんとこイーストネット（新所沢東まちづくり協議会）」を設立。地域課題に即した3部会制を採るが、どの部会に参加するかは団体の任意である点に特徴がある。とこちゃん体操の普及活動、子育て情報&MAP作成、高齢者交通安全教室などの事業を実施している。

## 三ヶ島地区

狭山ヶ丘駅を中心に住宅地が形成されるとともに、その周辺の市街化調整区域には住宅と農地が共存しています。狭山ヶ丘駅東口側は、土地区画整理事業により都市基盤が整備され、良好な市街地が形成されています。また隣接した地区では、現在、土地区画整理事業により道路などの都市基盤整備が進められています。

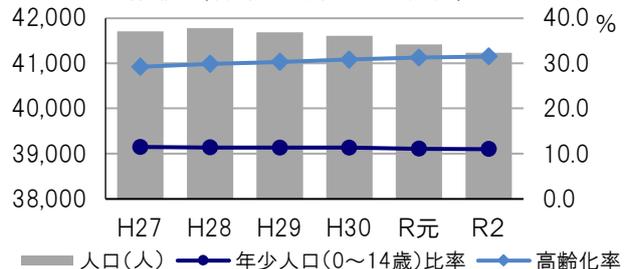
一方、駅西口周辺は昭和40年代からの急激な宅地化により、狭い道路が多く、オープンスペースも少ない密集市街地となっており、交通や防災面などの課題があり、安全・安心な住環境の整備が求められています。

### ■基本データ

	単位	三ヶ島地区	市全体
① 人口	人	41,231	344,216
② 世帯数	世帯	19,250	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.14	2.10
④ 高齢化率	%	31.5	27.2
⑤ 平均年齢	歳	48.6	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	87.5	87.4
⑦ 定住意向	%	86.3	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	62.3	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	11,815	96,973
加入率	%	61.6	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	29	478
充足率	%	100	96.37
⑪ 民生委員・児童委員数	人	32	478
充足率	%	100	96.37

※⑩…三ヶ島第一地区 ⑪…三ヶ島第二地区

### ■人口の推移（各年12月31日現在）



### ■地区の現況

平成25年3月16日に「三ヶ島まちづくり推進会議」を設立。令和2年6月「三ヶ島まちづくり協議会」と名称を変更。地域安全部会では、高齢者対象交通安全教室や振り込め詐欺防止講座を開催。地域福祉部会では、認知症サポーター養成講座や「人生100年時代をどう生きるか」と題した講演会を開催するなど、各部会・団体間での情報共有と地域課題に協働で取り組む体制を整備している。

## 小手指地区

小手指地区は、小手指駅周辺の中高層住宅地や低層住宅地、市街化調整区域の住宅地、農地、雑木林などが共存する地区です。昭和40年代に土地区画整理事業により都市基盤が整備され、商業・業務施設などが立地しており、近年では駅北口に超高層マンションが建設され、ハナミズキ通りは無電柱化が行われるなど、街の姿や景観も変化しています。

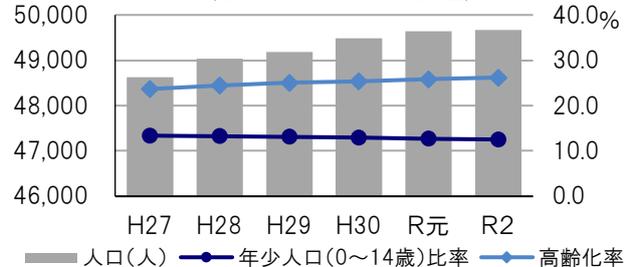
一方で、小手指駅周辺を離れると、狭あい道路が多いなど、交通や防災面などで課題があり、安全・安心な住環境の整備が求められています。

### ■基本データ

	単位	小手指地区	市全体
① 人口	人	49,669	344,216
② 世帯数	世帯	22,804	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.18	2.10
④ 高齢化率	%	26.2	27.2
⑤ 平均年齢	歳	46.0	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	87.8	87.4
⑦ 定住意向	%	81.5	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	68.2	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	13,166	96,973
加入率	%	58.1	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	39	478
充足率	%	97.50	96.37
⑪ 民生委員・児童委員数	人	26	478
充足率	%	96.30	96.37

※⑩…小手指第一地区 ⑪…小手指第二地区

### ■人口の推移（各年12月31日現在）



### ■地区の現況

平成26年1月25日に「小手指まちづくり協議会」を設立。「小手指地域マップ」や「小手指方言かるた」を作成。また、小手指のマスコットとしてプラ板の「こてまる」を作成し、地域への愛着度アップを目的として、新小学1年生に毎年配付するなど、地区の資源の再確認と地域への協議会活動の情報発信を行っている。

更に協議会として、各部会及び部会間の連携強化を進め、魅力ある地域づくりに努めている。

## 山口地区

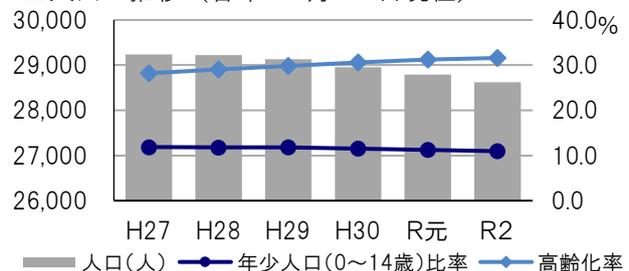
山口地区は、都心近郊の貴重な自然である狭山丘陵地にあり、地区南西部の市街化調整区域は狭山近郊緑地保全区域に指定されています。

一方、市街化区域内には、中央部に椿峰ニュータウン、東部に三井団地などの良好な住宅地が整備されています。これらの計画的に開発された住宅地以外では、歩道などが設置されていない幹線道路や狭あい道路が多く、また丘陵地であることから、斜面地が多いなど交通や防災面などで課題があり、安全・安心な住環境の整備が求められています。

### ■基本データ

	単位	山口地区	市全体
① 人口	人	28,621	344,216
② 世帯数	世帯	12,999	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.20	2.10
④ 高齢化率	%	31.6	27.2
⑤ 平均年齢	歳	48.8	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	83.4	87.4
⑦ 定住意向	%	80.7	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	65.9	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数	世帯	6,663	96,973
加入率	%	51.6	59.8
⑩ 民生委員・児童委員数	人	38	478
充足率	%	97.44	96.37

### ■人口の推移（各年12月31日現在）



### ■地区の現況

平成24年12月1日に「山口まちづくり推進協議会」を設立。地区の福祉関連団体を地域福祉社会に統合して負担軽減と福祉課題の情報共有を図った。人材発掘・育成の一環として地域の方を協議会の専従事務員として配置する取組を行った。また、学習文化部会では、地域の名所・旧跡を網羅した「山口ほほえみウォーキングマップ」を作成し、地域の魅力アップと健康の増進を図った。

## 吾妻地区

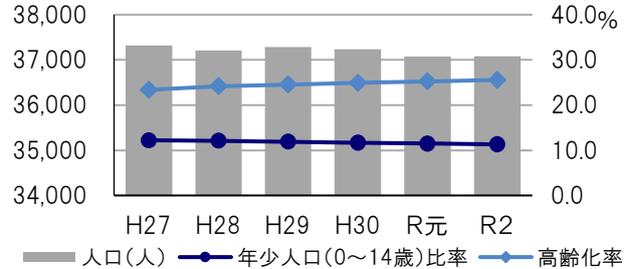
吾妻地区は、昭和40年代以降、多くの農地などが急激に住宅地として開発されてきました。特に所沢駅に近い地区では、木造住宅が密集し、狭あい道路が多くなっています。所沢駅東口周辺は土地区画整理事業により都市基盤の整備が完了し、商業・業務施設などが立地しています。

現在、所沢駅西口地区ではにぎわい創出のため、土地区画整理事業と一体となった市街地再開発事業が行われているほか、北秋津・上安松地区においても土地区画整理事業が行われており、都市計画道路や生活道路などの都市基盤の整備が進められています。

### ■基本データ

	単位	吾妻地区	市全体
① 人口	人	37,080	344,216
② 世帯数	世帯	17,993	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	2.06	2.10
④ 高齢化率	%	25.6	27.2
⑤ 平均年齢	歳	45.8	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	89.5	87.4
⑦ 定住意向	%	87.8	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	68.5	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数 加入率	世帯 %	11,335 63.4	96,973 59.8
⑩ 民生委員・児童委員数 充足率	人 %	49 98.00	478 96.37

### ■人口の推移（各年12月31日現在）



### ■地区の現況

吾妻町内会連絡協議会においては、「吾妻はひとつ」を合言葉に、各種地域活動に取り組んでいる。特に、「もったいない市」を複数の会場で複数回にわたって実施するなど、市内でもとりわけ環境分野に力を入れている地区。

## 並木地区

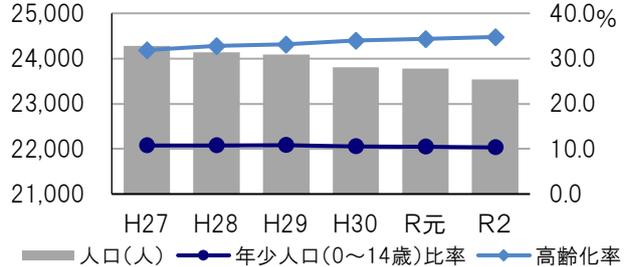
並木地区は、返還された米軍基地の一部において、本市における行政・文化施設の中心として、市役所、警察署、税務署、所沢航空記念公園、市民文化センター（ミュージアム）などの公共施設が集積している地区です。また、防衛医科大学校や防衛医科大学校病院、国立障害者リハビリテーションセンターといった教育・研究施設なども立地しています。

他地区と比較すると、人口減少が最も著しく、民間開発により整備された住宅地をはじめとして高齢化率が高くなっているほか、一部には密集市街地や狭あい道路などの多くの問題が残されています。

### ■基本データ

	単位	並木地区	市全体
① 人口	人	23,543	344,216
② 世帯数	世帯	12,090	163,555
③ 一世帯あたり人員	人	1.95	2.10
④ 高齢化率	%	34.7	27.2
⑤ 平均年齢	歳	49.5	46.6
⑥ 所沢市への愛着度	%	85.7	87.4
⑦ 定住意向	%	79.5	83.7
⑧ 居住環境の満足度	%	76.4	67.2
⑨ 自治会等加入世帯数 加入率	世帯 %	6,982 58.5	96,973 59.8
⑩ 民生委員・児童委員数 充足率	人 %	33 76.74	478 96.37

### ■人口の推移（各年12月31日現在）



### ■地区の現況

平成28年2月20日に「並木まちづくり協議会」を設立。協議会では、広報紙を作成・配布し、地区各種団体や協議会の活動内容について、住民との情報共有を図っている。また、地域課題解決のための一助として「シニアのための講習会」と題し、消費トラブル防止や介護保険の活用例等の講習会を定期的実施している。

## 2 地域福祉計画策定に関する市民意識調査

### (1) 調査の概要

地域の実情、市民の地域福祉に対する考え方や意見を把握し、本計画の策定のための基礎資料とするとともに、本市における福祉施策の検討に活用することを目的として、市民意識調査（以下「市民アンケート」という。）を実施しました。

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査対象：以下①②をそれぞれ無作為抽出

①14～18歳の市民1,000人（以下「**中高生**」という。）

②19歳以上の市民4,000人（以下「**一般**」という。）

調査期間：令和元年9月30日～10月25日

回収結果：

	配布数	回収数	回収率
①14～18歳	1,000	351	35.1%
②19歳以上	4,000	1,645	41.1%
合計	5,000	1,996	39.9%

- 本調査の結果は「第3次所沢市地域福祉計画策定に関する市民意識調査報告書」として別途とりまとめを行っています。
- 表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 回答結果は有効回答数に対するそれぞれの回答数の割合を小数点第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対する、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

### (2) 結果の概要

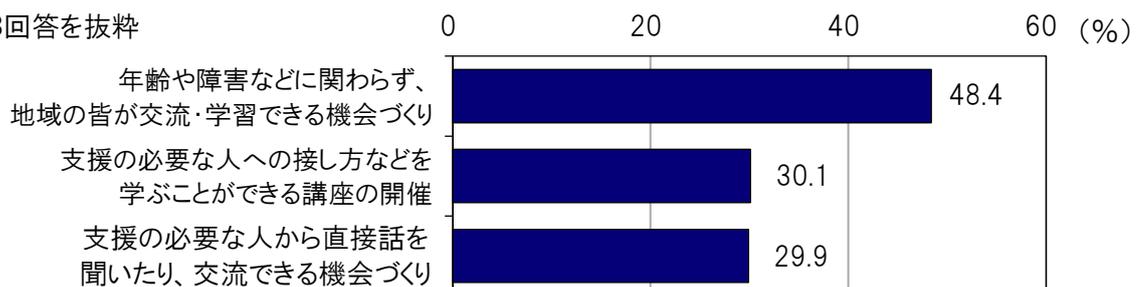
#### ● 福祉学習や相互理解

#### ▶▶▶ 基本施策1 (p.40)

福祉教育・福祉学習をより効果的に行っていくために必要なこととして、順に「年齢や障害などに関わらず、地域の皆が交流・学習できる機会づくり (48.4%)」、「支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催 (30.1%)」、「支援の必要な人から直接話を聞いたり、交流できる機会づくり (29.9%)」などが挙げられています。

#### ■ 福祉教育・福祉学習を効果的に行っていくために、必要な取り組み(○はいくつでも)《一般》

上位3回答を抜粋



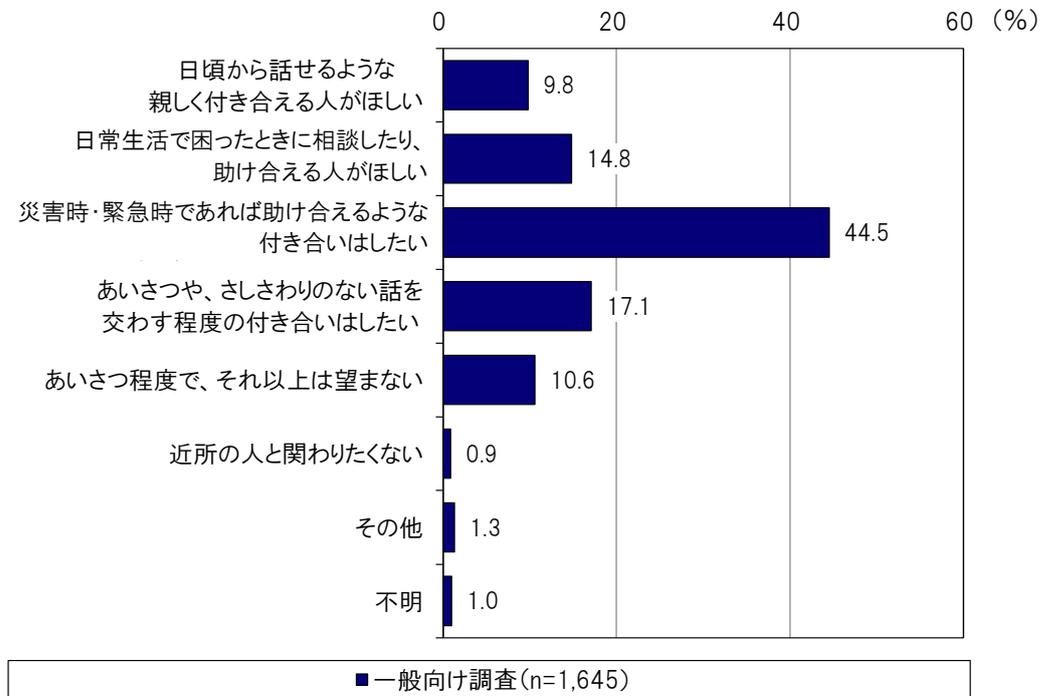
■ 一般向け調査(n=1,645)

## ●近所付き合いの現状と今後の希望

▶▶▶ 基本施策2 (p.42)

現状では、地区や年代を問わずに“あいさつ程度”の関係にとどまっていますが、今後の希望については、《一般》では「災害時・緊急時であれば助け合えるような付き合いはしたい」が44.5%と最も高く、現状より深い近所付き合いを望んでいることがわかりました。

### ■近所付き合いに対する今後の希望(○は1つ)《一般》



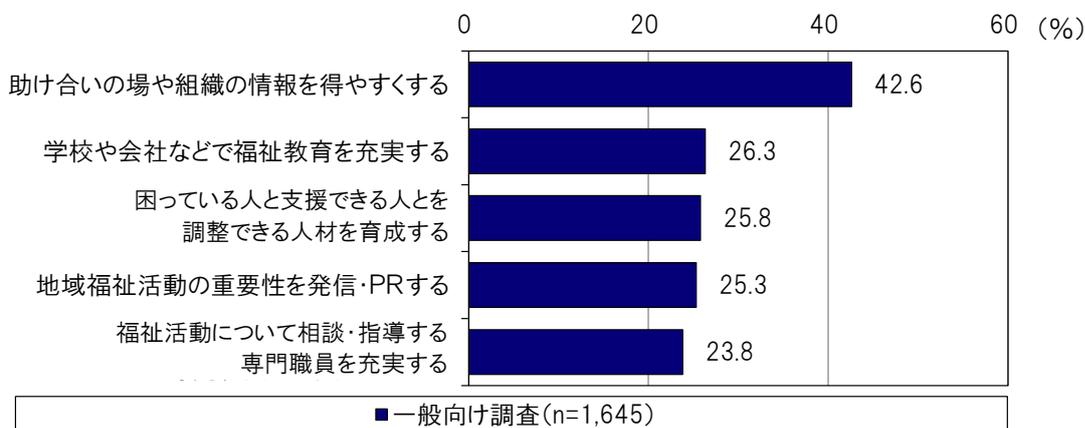
## ●助け合い・支え合い活動

▶▶▶ 基本施策1 (p.40)、3 (p.44)、7 (p.52)

地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために大切なこととして、「助け合いの場や組織の情報を得やすくする(42.6%)」が最も高く、次いで「学校や会社などで福祉教育を充実する(26.3%)」、「困っている人と支援できる人とを調整できる人材を育成する(25.8%)」などが挙げられています。

### ■地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために大切なこと(○はいくつでも)

《一般》上位5回答を抜粋



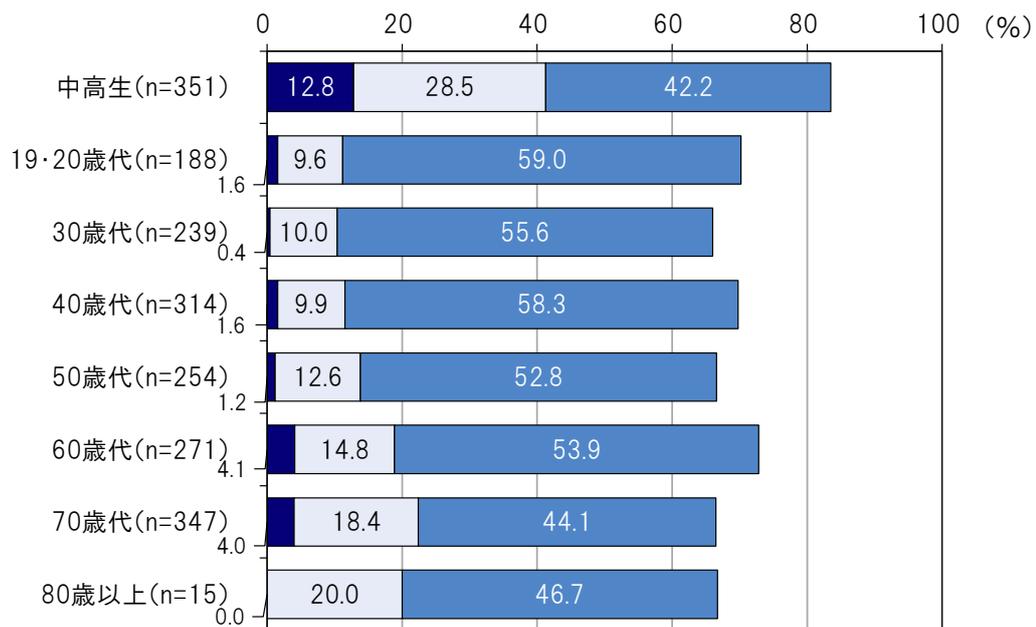
## ●福祉活動やボランティア活動への参加

## ▶▶▶ 基本施策3 (p.44)

《中高生》では、「積極的に取り組んでいきたい(12.8%)」が《一般》に比べ多く、合計8割以上の方が活動への参加意欲を持っています。《一般》では、いずれの年代でも「機会があれば取り組んでもよい」が5割程度と最も高く、機会を得ることができれば、活動への参加につながる可能性があることがうかがえます。

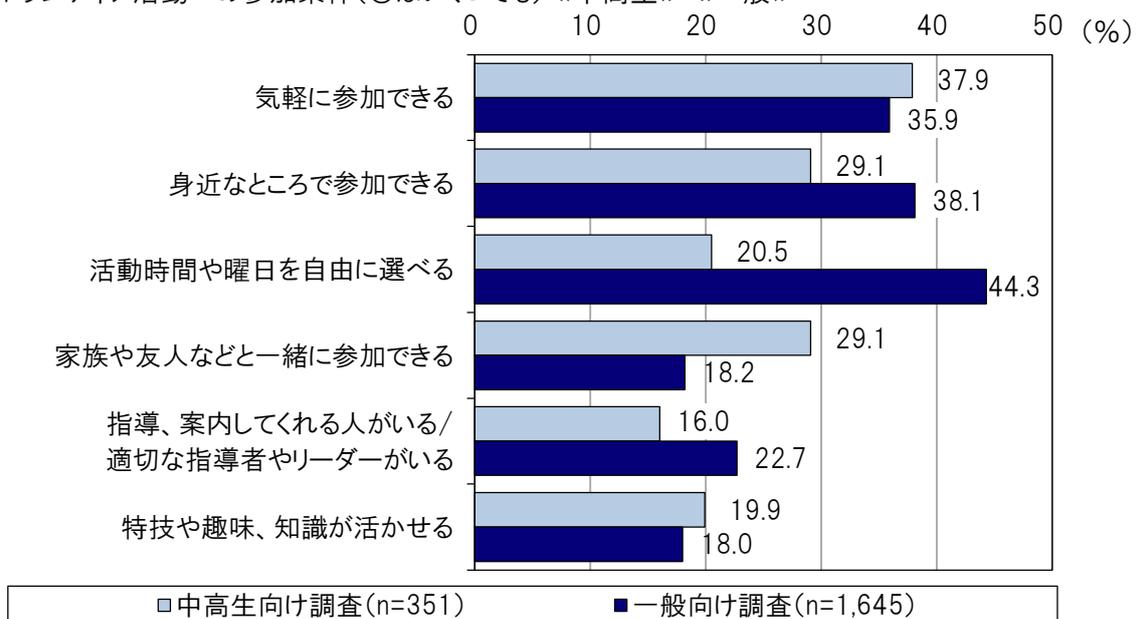
活動への参加条件として、《中高生》では「気軽に参加できる(37.9%)」が、《一般》では「活動時間や曜日を自由に選べる(44.3%)」がそれぞれ最も多く挙げられています。

### ■地域活動やボランティア活動に対する今後の希望(○は1つ)《中高生》《一般》



■積極的に取り組んでいきたい □できるだけ取り組んでいきたい ■機会があれば取り組んでもよい

### ■ボランティア活動への参加条件(○はいくつでも)《中高生》《一般》

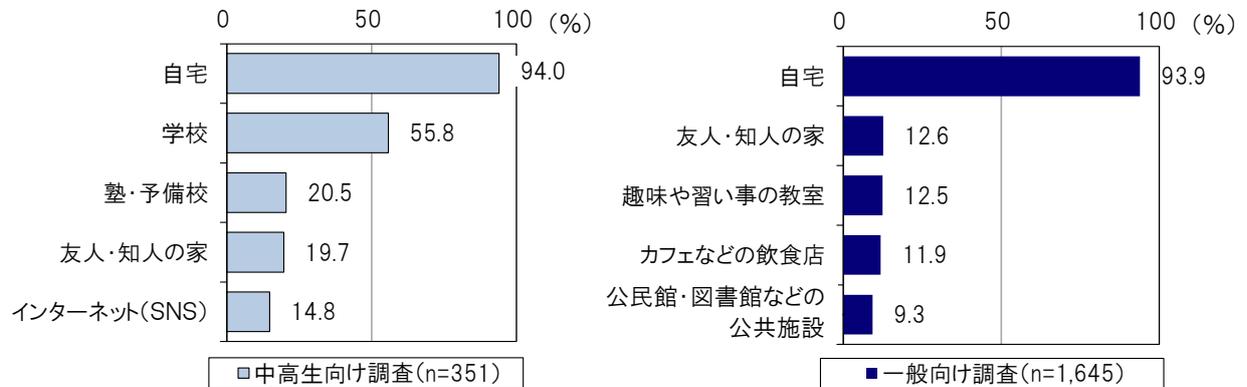


## ●居場所と感じられる場所

### ▶▶▶ 基本施策 4 (p.46)

《中高生》では「自宅(94.0%)」に次いで「学校」が55.8%にのびた一方、《一般》では「自宅(93.9%)」以外は数%~10%前後と、自宅以外に居場所と感じられる場所がない人が一定数いる可能性がうかがえます。

#### ■居場所と感じられる場所(○はいくつでも)《中高生》《一般》上位5回答を抜粋



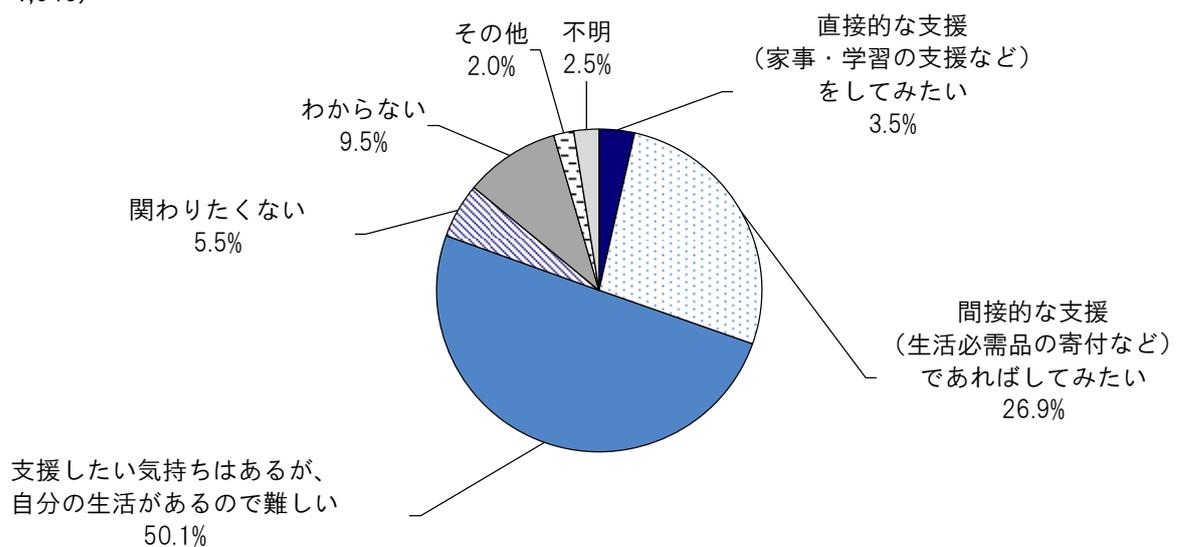
## ●生活困難者などへの支援

### ▶▶▶ 基本施策 9 (p.56)

生活に困っている人を地域で支えることについて、「支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい」が50.1%と直接的な支援意欲は低いものの、「間接的な支援(生活必需品の寄付など)であればしてみたい」が26.9%と続いています。

#### ■生活に困っている人を地域で支えることについて(○は1つ)《一般》

(n=1,645)

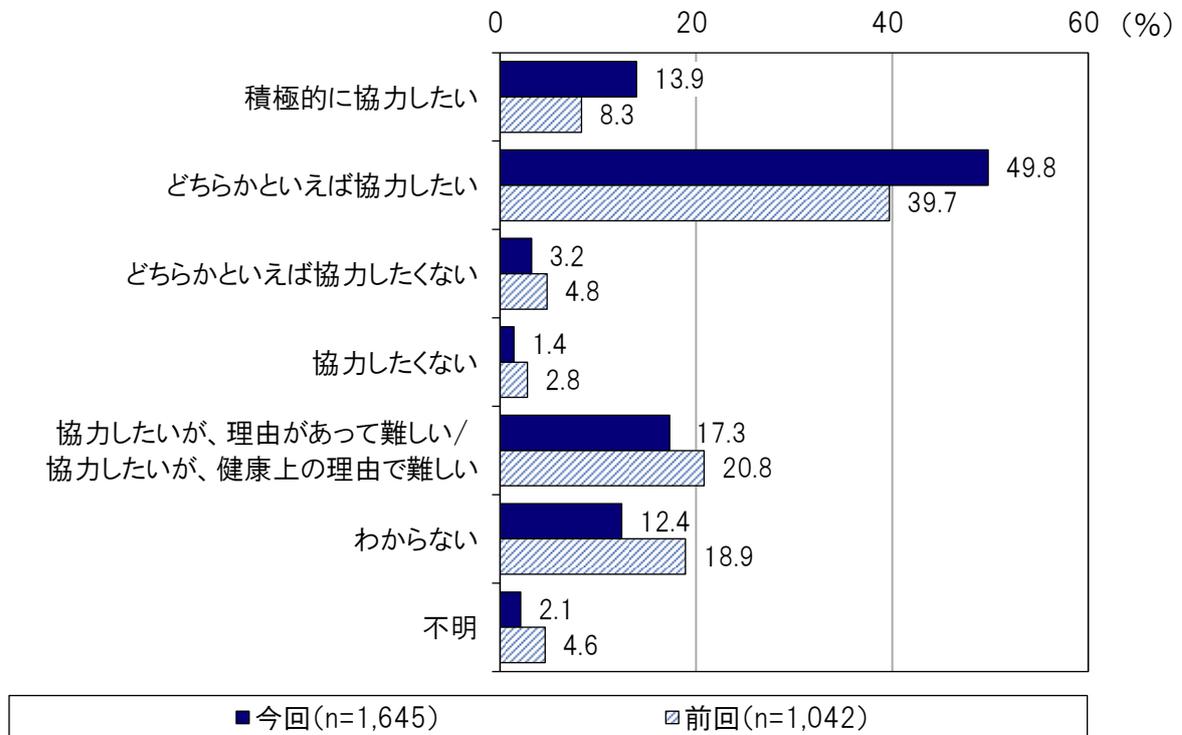


●災害時の助け合い

▶▶▶ 基本施策 10 (p.58)

近所に避難行動要支援者がいた場合の協力意向について、前回調査<sup>28</sup>と比較すると「積極的に協力したい」が 5.6 ポイント、「どちらかといえば協力したい」が 10.1 ポイント増加しました。

■近所に避難行動要支援者がいた場合の協力意向(○は1つ)《一般》



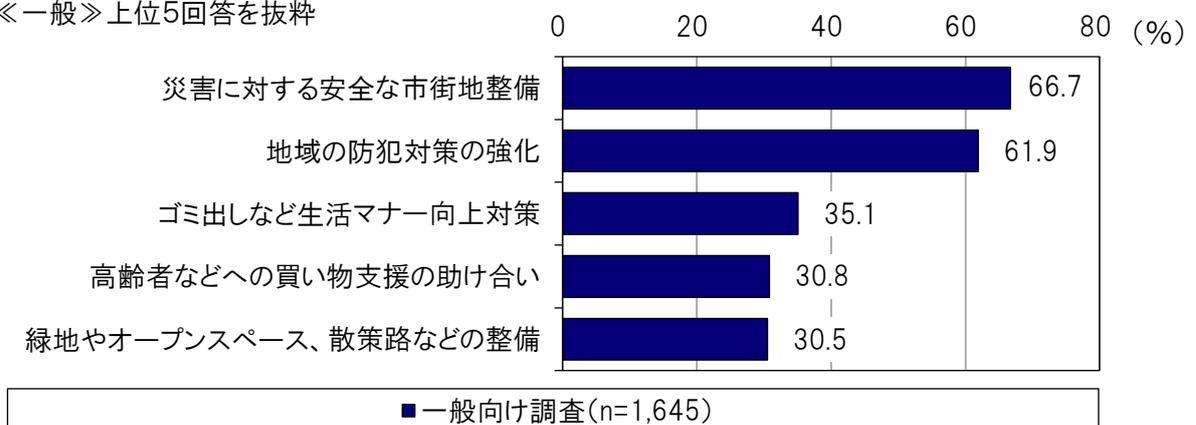
●誰もが住み続けられる地域づくり

▶▶▶ 基本施策 5 (p.48)、11(p.60)

安心して住み続けるために住環境・生活で重要だと思う取り組みについて、順に「災害に対する安全な市街地整備 (66.7%)」、「地域の防犯対策の強化 (61.9%)」、「ゴミ出しなど生活マナー向上対策 (35.1%)」、「高齢者などへの買い物支援の助け合い (30.8%)」などが挙げられています。

■安心して住み続けるために住環境・生活で重要だと思う取り組み(○はいくつでも)

《一般》上位5回答を抜粋



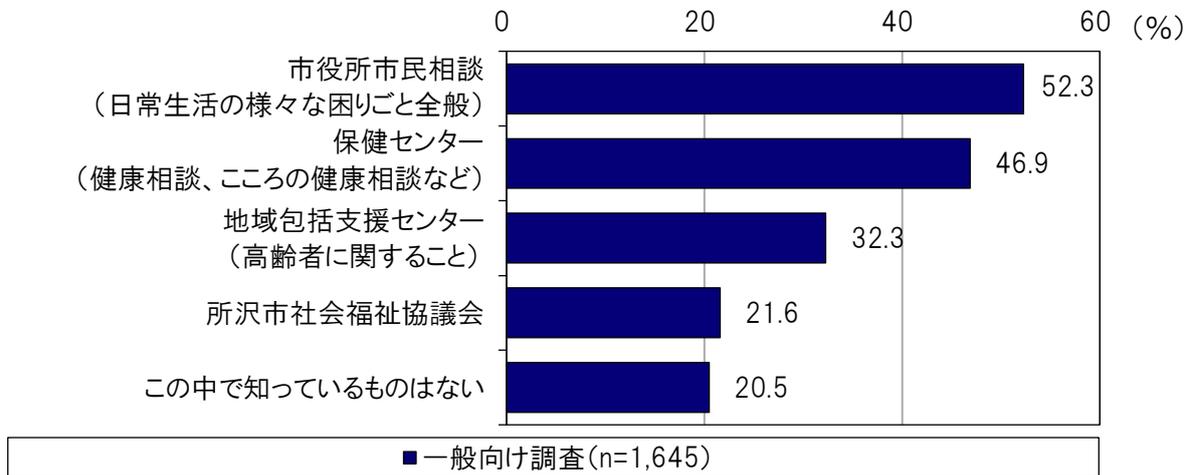
28 第2次所沢市地域福祉計画の策定に向けて、平成26年7月に実施。

●行政や地域の相談窓口の認知度

▶▶▶ 重点施策 A (p.34)、B (p.36)

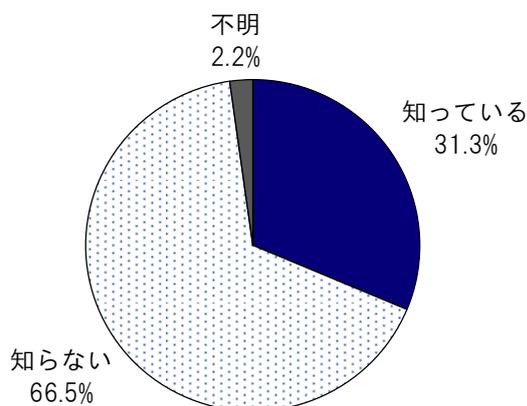
市内にある福祉に関する相談先の認知度について、《一般》では順に「市役所市民相談 (52.3%)」、「保健センター (46.9%)」、「地域包括支援センター<sup>29</sup> (32.3%)」となっている一方で、「この中で知っているものはない (20.5%)」が5番目に高くなっています。

■市内にある福祉に関する相談先の認知度(○はいくつでも)《一般》 上位5回答を抜粋

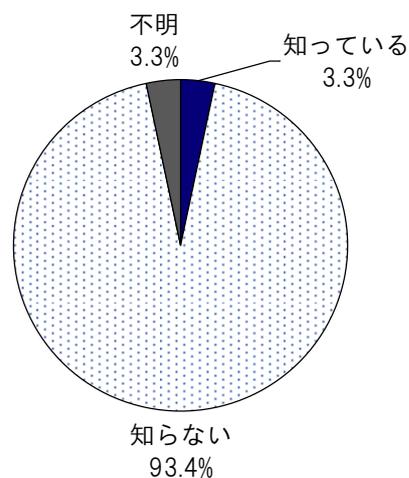


他方、地域における最も身近な相談先である民生委員・児童委員<sup>30</sup>や、地域で困りごとを発見・把握し、地域住民とともに解決に取り組む社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー (CSW)<sup>31</sup>の認知度は、いずれも半数以上が「知らない」と回答しました。

■民生委員・児童委員の認知度(○は1つ) 《一般》 (n=1,645)



■コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の認知度(○は1つ) 《一般》 (n=1,645)



29 p.5 参照  
30 p.4 参照  
31 p.2 参照

●福祉情報の入手について

▶▶▶ 重点施策C (p.38)

《中高生》が情報を得るために利用しているものは、順に「テレビ・ラジオ・新聞(67.8%)」、「LINE(67.5%)」、「Instagram(インスタグラム)(43.3%)」となっています。

《一般》では、生活や地域に関する情報の入手先として、いずれの年代も「広報とところざわ」が最も高く、50歳代以下では「市のホームページ」や「インターネット」が、60歳代以上では「テレビ・ラジオ・新聞」や「身近な人からの口コミ情報」が高い傾向にあります。

■各情報媒体の利用状況(それぞれ○は1つ以上)《中高生》

上位5回答抜粋

単位:%	第1位回答	第2位回答	第3位回答	第4位回答	第5位回答
中高生 (n=351)	テレビ・ラジオ・新聞	LINE	Instagram(インスタグラム)	Twitter(ツイッター)	回覧板
	67.8	67.5	43.3	41.0	25.9

■生活や地域に関する情報の入手先(○はいくつでも)《一般/年代別クロス》

上位5回答抜粋

単位:%	第1位回答	第2位回答	第3位回答	第4位回答	第5位回答
19・20歳代 (n=188)	広報とところざわ	インターネット(市、社協以外)	市のホームページ	テレビ・ラジオ・新聞	身近な人からの口コミ情報
	41.5	34.6	29.8	20.2	19.1
30歳代(n=239)	広報とところざわ	市のホームページ	インターネット(市、社協以外)	テレビ・ラジオ・新聞	身近な人からの口コミ情報
	68.2	36.4	28.9	17.2	15.5
40歳代(n=314)	広報とところざわ	市のホームページ	インターネット(市、社協以外)	ところざわほっとメール	テレビ・ラジオ・新聞
	78.7	31.8	24.2	23.6	19.4
50歳代(n=254)	広報とところざわ	市のホームページ	インターネット(市、社協以外)	身近な人からの口コミ情報	テレビ・ラジオ・新聞
	78.3	30.7	20.9	18.1	17.7
60歳代(n=271)	広報とところざわ	テレビ・ラジオ・新聞	身近な人からの口コミ情報	市のホームページ	インターネット(市、社協以外)
	85.6	27.7	24.7	22.1	13.3
70歳代(n=347)	広報とところざわ	テレビ・ラジオ・新聞	身近な人からの口コミ情報	市のホームページ	市役所の窓口
	84.7	28.0	26.8	11.5	6.3
80歳以上(n=15)	広報とところざわ	身近な人からの口コミ情報	テレビ・ラジオ・新聞	ちやお(所沢社協だより)	市のホームページ
	86.7	66.7	26.7	13.3	6.7

## ●地域福祉の推進について

地域福祉を進めていくために、市が優先的に取り組むべき施策について、順に「相談しやすい窓口の充実（39.4%）」、「わかりやすい福祉情報の提供（38.3%）」、「災害時の安心・安全の仕組みづくり（31.8%）」、「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり（31.3%）」となっています。

年代別にみると、それぞれ最多回答は、19・20歳代で「災害時の安心・安全の仕組みづくり」、30歳代で「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり」、40・50・70・80歳以上では「相談しやすい窓口の充実」、60歳代では「わかりやすい福祉情報の提供」となっています。

### ■地域福祉を進めていくために、市が優先的に取り組むべき施策（○は3つまで）

《一般》上位10回答を抜粋

